

<事業所全体による自己評価> R2.11.14実施

dream

項目	選択した理由	現状分析	解決目標	解決方法	期限	経過
①利用児童や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていますか	他項目であるが、『職員と話しができない』『いつも忙しそう』という記述があったため。	・保護者会は年間スケジュールに入れていたものの、コロナウイルス感染症の流行のため、中止した。 ・別時間に職員との面談ができることを、保護者に周知できていなかった。	いちばん星は、保護者にも寄り添えるように、保護者支援を充実させる。	○保護者へ配布をしている予定表に、職員と面談ができることを記述する。 ○コロナウイルス感染症の状況を鑑み、できる方法で保護者会を実施する。	1年間	・予定表への記載はないが、個別に保護者へ事業所内相談の案内を行っている。 ・保護者会は実施できなかったが、来年度の実施に向けて準備を行っている。
⑥事業所内の活動だけでなく、地域との交流や社会参加のスキルを上げる活動が取り入れられていますか	『はい』の回答が少なかったため。	・事業形態が個別療育であるため、地域との交流や社会参加のスキルを上げる活動が取り上げにくい。	個別に社会参加のスキルをあげる取り組みを行う。	○可能な範囲(設定時間等)で、ソーシャルスキルトレーニングを行う。	1年間	・新型コロナウイルスの影響により、積極的な外出や地域交流はできなかったため、社会参加に向けて、ライフスキル向上に繋がる取り組み(お金の計算、時計の理解、忘れ物チェック、生活家電の利用など)を行っている。
⑮非常災害の発生に備え、療育の中で定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか	プラスの回答が少なかったため。	・利用児童と一緒に避難訓練ができていない。	利用児童の防災意識を高める活動を提供する。	○9月1日の防災の日を中心に避難訓練を実施する。 ・消火器の場所や避難経路を確認する。 ・ソーシャルスキルトレーニングの取り組みとして、110番や119番の意味や困った時にどうするとよいかについて、利用児童と共に考える。	1年間	・9月下旬に、個別で防災訓練(消火器や避難経路の確認、消防や警察への連絡など)を行った。